

立山自然観察実習

期 間：平成 30 年 7 月 14 日（土）～15 日（日）

場 所：立山カルデラ砂防博物館、美女平、弥陀ヶ原、天狗平、室堂

参加者：第 1 学年探究科学科生徒 40 名

指導者：富山県ナチュラリスト協会 志村幸光先生、日下紘一先生、上埜玉紀先生

富山県天文学会 西村彰先生

本校教職員 5 名

7 月 14 日から 2 日間にわたり、好天のもとで立山自然観察実習を行いました。

1 日目の立山カルデラ砂防博物館では、富山の治水に関する詳しい知識を得ることができました。また、美女平や弥陀ヶ原などでは、タテヤマスギの観察、ブナ林の植生調査、池塘調査などを行いました。タテヤマスギの葉を観察して 1 年間に伸びた枝の長さを調べ、樹形から積雪深を推定する方法はどれも新鮮で、生徒達は真剣な顔つきで調査を行っていました。ブナ林の植生調査では、植物の名前を確認したり、ブナの幹の外周の長



さを測ったりしながら、植物の群生の度合いや高さなどを調べることができました。実習前に入林届を提出していたので、池塘の調査では、数人の生徒が池塘の周りまで入り、モウセンゴケやカオジロトンボを観察したり、池塘の中に生息しているヤゴなどの生き物を目近で見たりするなど、とても貴重な体験ができました。



夜は、天体観察を行いました。普段の生活では決して見ることでできない満天の星空が頭上に広がっていました。生徒からは、「北斗七星をはじめ、数多くの星座や星々を確認することができた。天文学会の方の詳しい説明もあり、宇宙に興味を持てた。」「木星の衛星写真を撮ることができて、本当によかった。今までこれほどきれいな星空を見たことがなかったので、興奮した。またいつか、このような空を見てみたい。」などの感想がありました。



2 日目は、天狗平から室堂まで歩き、高山植物の観察を行いました。ナチュラリストの方々の説明を受けながら、生徒たちは、色、形、高さ、生息地の環境を調べ、写真を撮ったり植物のスケッチをし



りして、散策しました。1 番多い班は、50 種類以上もの高山植物を見つけることができました。室堂では、ライチョウの親子を見ることができ、全員記念シールをもらうこともできました。「こんなに楽しい登山ははじめて。」や、「一生分の立山を満喫した気分だ。」といった声が数多く上がっていました。

2日間という短い期間でしたが、立山の自然について理解を深めることができました。また、生徒たちが自分から積極的に質問をしている姿があちこちで見られました。今回の実習で学んだことを、今後の探究活動や、日常生活にも生かしていこうと思います。

